



10月の支援センターだより

2020年10月発行 八幡市 子ども・子育て支援センター
子育て支援センター

朝夕の気温の変化や結実から、移りゆく季節を感じるようになりました。引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、利用時間・利用人数の制限をさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。



10月の予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----------------------------|---|---|---|--|---------------------------------|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| ♥赤ちゃんの広場 ◎遊びの広場 ♪園庭開放 ★園開放 | | | | 保健師による 子育てミニミニ講座 (すくすくの社) | ♪男山保育園 | 開設 すくすくの社 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| お休み |  | |  | はじめての絵本 (すくすくの社) 栄養士による 子育てミニミニ講座 (すくすくの社) | ♪山鳩こども園 | 開設 すくすくの社 あいあいポケット はじめての絵本 (すくすくの社) (あいあいポケット) |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| お休み | はじめての絵本 (あいあいポケット) | | あいあいサロン (あいあいポケット) ♥くすのき保育園 (離乳食展示) | ♪認定こども園 歩学園幼稚園 | はじめての絵本 (あいあいポケット) ★男山保育園 | 開設 すくすくの社 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| お休み |  | はじめての絵本 (そよかぜ) | ★なるみ幼稚園 ★認定こども園 早苗幼稚園 | はじめての絵本 (すくすくの社) 利用者支援員による 子育てミニミニ講座 (すくすくの社) ★認定こども園 歩学園幼稚園 | | 開設 すくすくの社 はじめての絵本 (すくすくの社) |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
| お休み | |  | ○園遊び 認定こども園 早苗幼稚園 | 臨床心理士による 子育てミニミニ講座 (すくすくの社) ★認定こども園 歩学園幼稚園 | ★くすのき保育園 ♪山鳩こども園 | 開設 すくすくの社  |

◆あいあいポケットのあいあいサロンは先着7組予約制になります。(対象は、妊婦さんと生後2か月から1歳半の親子です)

※ 予約受付 10月1日(木)～ 詳細は、あいあいポケットにお問い合わせください。

◆山鳩第二こども園のかがも広場は、2日(金)・23日(金)に開催します。(各日5組予約制)

◆園開放・園庭開放の利用時間等の詳細は、各保育園・幼稚園・こども園にお問い合わせくださるか、八幡市のホームページや「広報やわた」でお確かめください。(公立の保育園・こども園・幼稚園の今年度開催予定であった地域開放等のイベントは中止になりました)

◆気象警報が発令された場合、各子育て支援センター主催の事業は全て中止になります。

◆震度5強以上の地震が発生した場合、当日は閉館とします。地震の発生が午後4時以降の場合は、当日及び翌日は閉館となります。

“親子で絵本を楽しむ時間”をつくりませんか？

親子で寄り添って1冊の絵本をみながら、ゆったりと過ごすひとときは、子どもにとって、親にとってもかけがえのない大切な時間です。生まれたばかりから、0か月、1歳・・・やがて5歳へ。子どもの運動・言語能力やコミュニケーション力はどんどん発達していきます。月齢や年齢を目安に、とっておきの絵本を見つけてください。

0歳・1歳

0歳の赤ちゃんの視力は、生後2カ月で0.02程度、1歳頃は0.3程度ですので、輪郭や色がはっきりしている絵本がよいといわれています。また、まるで赤ちゃんの前にいるように、人間や動物が正面を向いて描かれているものがわかりやすいので、『いないいないばあ』のような絵本を選んであげましょう。

この時期の聴力は非常に発達しています。絵本を読んでいるとき、絵は見えていないようでも読んでくれる声は聞いています。そこで大切になってくるのが、絵本の言葉です。リズムカルで、子どもにとって身近な言葉の絵本を選んであげましょう。1歳の子どもは、絵本の中の「ねこ」という言葉と一緒に「ねこ」の絵をさし示されることで、「言葉」と「もの」の関係を学んでいきます。食べ物、生き物、乗り物など身近なものが描かれている絵本を選んであげましょう。



2歳・3歳

2歳の子どもは、ことばのイメージが大きく育ち始め、体験したことだけでなく、まだ体験していないことにも想像力を働かせられるようになります。そして、想像しながら楽しめる、ストーリーのある絵本を好むようになります。初めは、現実の世界からかけ離れた絵本より、『しろくまちゃんのほっとけーき』のような、子どもの日常的な体験を土台として物語が展開する絵本を選んであげましょう。

3歳の子どもは、イメージする力が育ち、現実から離れた知らない世界や、未体験のことへの興味・関心が膨らんでいきます。ファンタジー絵本や昔話など、さまざまな種類の絵本を読み、新しい世界と出会わせてあげましょう。



4歳・5歳

4歳の子どもは、言葉がいくつかの音の集まりだと知り始めます。しりとり遊びや逆さ言葉など、言葉と音との関係に興味を持ち始めます。言葉遊びが出てくる絵本を選んで、楽しみながら言葉のもつおもしろさや感覚を育てましょう。また、目に見えない世界への憧れや探究心を満たすファンタジー絵本、冒険物語もおすすめです。現実から離れた物語の世界を楽しみながら、イメージの世界はどんどん膨らむでしょう。

5歳の子どもは、自分自身の気持ちや相手の気持ちに敏感になりだす時期です。主人公の生き方に感動できるなど、子どもの内面に響くような絵本に出会わせてあげましょう。そうした絵本との出会いを通して、豊かな感情が子どもたちの中に生まれ始めます。



最後に・・・

お母さん、お父さんの中には「忙しくて、絵本を楽しむゆとりがない」と感じている方もいらっしゃるかもしれませんが、でも、忙しい日々だからこそ、5分・10分という短い時間でも心を落ち着けて、親子でゆったりと絵本を楽しむ時間をもってみてはいかがでしょうか。

あとから振り返れば、子どもはあっという間に育ってしまうもの。そして、親子で絵本を楽しむ時間には限りがあります。その限られた時間を大切に味わってください。親子で一緒に絵本を読んだ時間は、子どもたちの記憶の中でずっと良い思い出として残っていくでしょう。